

「マルチステークホルダー方針」

当社は、「安全・安心で豊かな暮らしの中で、今と未来の人々が夢や希望を叶えられる世界。」の実現に向け、「個性と技術を活かし合い、社会課題の解決に挑みつづける。」ことで持続的に成長し続けることをグループ企業理念に掲げております。その上で、株主、従業員、取引先、顧客、地域社会をはじめとする様々なステークホルダーとの価値協創が重要となっていることを踏まえ、マルチステークホルダーとの適切な協働に取り組んでまいります。価値協創や生産性向上によって生み出された収益・成果については、マルチステークホルダーへの適切な分配を行うことが、賃金引上げのモメンタムの維持や経済の持続的発展につながるという観点から、従業員への還元や取引先への配慮が重要であり、以下の取組みを進めてまいります。

記

1. 従業員への還元

当社は、グループ企業理念をもとに、ステークホルダーや社会にとってかけがえのない存在であり続けることを目指し、持続的な成長と付加価値の最大化に注力します。

この実現のためには、従業員のエンゲージメント向上や生産性向上が必要であるとの認識のもと、人材投資にも積極的に取り組みます。

その上で、生み出した収益・成果に基づいた適切な方法による賃金の引上げや教育訓練等をはじめとした人材育成の強化を通じて、従業員への持続的な還元を行ってまいります。

（個別項目）

具体的には、賃金の引き上げについて、毎年の定期昇給に加えて、取り巻く経済環境や収益状況といった内外の環境を踏まえながら、従業員の意欲と成長につながる労働条件の改善や就労環境の整備等も含めて、労使で議論し真摯に検討していきます。

教育訓練等については、2022 年度より開始した自律自走教育、ものづくり力の維持・向上に向けた階層別・職種別の各種教育プログラムの更なる強化を図り、一人ひとりの成長・挑戦を促していきます。

また、安全・品質・環境・コンプライアンス遵守はもとより、企業理念の浸透、D&I や働き方変革の推進などを通じて、一人ひとりが能力を発揮でき、多様な人材の活躍推進につながる組織風土を醸成してまいります。

2. 取引先への配慮

当社はパートナーシップ構築宣言の内容遵守に、引き続き、取り組んでまいります。

なお、パートナーシップ構築宣言の掲載が取りやめとなった場合、マルチステークホルダー方針の公表を自主的に取り下げます。

・ パートナーシップ構築宣言の URL

【<https://www.biz-partnership.jp/declaration/88449-05-14-hyogo.pdf>】

また、消費税の免税事業者との取引関係についても、政府が公表する免税事業者及びその取引先のインボイス制度への対応に関する考え方等を参照し、適切な関係の構築に取り組んでまいります。

3. その他のステークホルダーに関する取組

当社は、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを重視しています。株主・投資家をはじめとする皆様との対話活動やお客様などからのアンケートを通じて、ステークホルダーの皆様の評価や関心事項を真摯に受け止めるとともに、適正かつ迅速な情報開示を進めています。

また、当社は、スポーツを通じた社会貢献に取り組むとともに、次世代の育成・支援を中心とした地域振興や環境活動を通じた社会貢献等、地域社会に貢献する様々な活動を行っています。

これらの項目について、取組状況の確認を行いつつ、着実な取組を進めてまいります。

以上

令和5年4月10日

(令和6年2月26日 内容変更による更新)

(令和6年4月1日 代表者変更による更新)

(令和6年7月1日 内容変更による更新)

(令和7年3月11日 内容変更による更新)

株式会社神戸製鋼所

法人名

代表取締役社長 勝川 四志彦

役職・氏名（代表権を有する者）